

長期気候変化の鍵握る海洋?IPCC AR5 執筆に関わって Ocean as a key for projection of long term climate change

阿部 彩子^{1*}

ABE-OUCHI, Ayako^{1*}

¹ 東京大学大気海洋研究所および JAMSTEC

¹ AORI, University of Tokyo and JAMSTEC

IPCC (気候変化に関する政府間パネル)のAR4(第4次報告書)では、地球温暖化が現在ほぼ確実に進行していることがまとめられたが、その痕跡 (fingerprint) の証拠が説得力を持っているか、今後どうなるのかの予測に用いられたモデルの検証が十分か、まだ課題が多く、研究の進捗が問われている。中でも、著しく進歩を遂げてきた短期的気候予測に比べて数十年より長期の気候予測に関わる研究では深海や極地を含めた長い観測と古海洋観測とモデル研究が必要であることがわかってきた。講演では、気候感度、極域増幅 (Polar Amplification)、北大西洋循環 (AMOC) などの予測に関して言及して、海洋科学と周辺分野の連携の重要性を考えたい。

キーワード: 気候, 海洋, 古海洋

Keywords: ocean, climate, paleoclimate